

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2002年度 第5回相互協力委員会議事録

日時：2002年12月4日（水） 午後1時～午後5時

場所：愛知みずほ大学附属図書館

出席者：長坂功（愛知大学） 足立祐輔（愛知学院大学） 中上恵子（愛知みずほ大学）
酒井麻里（金城学院大学） 松永ひとみ（鈴鹿医療科学大学） 小川光男（中京大学）
養島智子（中部大学） 疋田幸世（中部学院大学） 加藤富美（南山大学）
石川宗臣（日本福祉大学） 加藤直美（愛知工業大学）

計11名

記録：加藤直美（愛知工業大学）

【協議事項】

1. 2002年度相互協力実務担当者研修会記録について

1) 以下の点について修正の上、再度確認を行うこととした。校正後はMLにて報告する。

(1) 全体会報告

- ・一部字句修正
- ・講演者名を「講演者」、大学名を「参加者」と表記
- ・[第2日目]の記録構成を見直し（研修会当日、講演者都合により予定を一部変更した為）

(2) 分科会報告

- ・A分科会：事前アンケート結果の回答を掲載。参加の概況を追加。
- ・B分科会：まとめを追加。事例報告部分を修正。
- ・C分科会：参加の概況及びまとめ等追加。項目構成を修正。

2) 講演者記録について担当者より作業進捗状況が報告された

- ・水口先生講演記録 修正済み
- ・仁上氏講演記録 修正原稿待ち

3) 委員長より「館灯」編集校に対し、ページ数等の確認及び講演者2名への「館灯」送付手配の依頼を行うことを確認した。

2. H.14(2002)年度第4回相互協力委員会議事録について

字句の修正を行い、実務担当者研修会についての反省点・感想の項目に今後の課題（予算等）を追加した。

3. データベース共同トライアル実施報告と今後の対応について

当日アンケートの結果について委員長より報告の後、データベース合同説明会報告（全体質疑応答記録）について検討を行った。いくつかのデータベースのコンソーシアム成立条件については委員長から確認を行い、その他気がついた点があれば、各自委員長に連絡を行うこととした。

また今後の対応についても協議を行い、以下のような意見が出された。

- ・共同トライアルは本来より上部組織で行うべきだが、当面（2～3年）は委員会で継続して実施してはどうか
- ・相互協力委員会レベルですすめるのは難しく、医学図書館協会のように、業者との交渉を専門に行う組織の設置が私大図書館協会にも望まれる
- ・電子ジャーナルの共同購入に係わる事業を委員会で扱うことの意義について、申し送り事項として検討していく
- ・相互協力委員会ホームページ上でのデータベースアナウンスの更新問題等が今後の課題である

る

4. OPAC 横断検索 / 相互貸借物流に関する調査報告について

委員長より 12 月開催の「図書館管理・運営実務責任者会議」での報告は、当日テーマと異なるため不許可だったこと、代案として研究集会発表という提案があったが研究集会の性格を考慮し、見送ったことについて報告があった。

また、次回「実務責任者会議」テーマとして提案することも、委員任期の関係で困難であるとの見解が述べられた。

「館灯」掲載という案についても検討がなされ、特に調査項目 1～4 項(各館 ILL の現状について)の結果は今後必要となることも考えられる為、資料として残しておく必要があるのではないかとの意見があり、次回常任幹事会(12 月 18 日開催)において、委員長より調査項目 1～4 項に関する報告の必要性及び方法について打診することとなった。

5. 次期委員会体制及び申し送り事項について

次期体制について現委員校の継続意志等について確認が行われた。委員校継続予定は 8 大学、但し委員継続についてはいずれも未定。また、申し送り事項について以下の点が確認された。

- ・データベース共同トライアル 申し送り事項に含める
- ・OPAC 横断検索 常任幹事会の結果をふまえ、次回委員会で検討する
- ・レファレンス・コンソーシアム事業 常任幹事会にて次期研究会幹事校の回答を待ち、再検討

6. その他

1) リンクデータベースについて

リンク先のチェック用プログラムを利用し、現在のリンク可否については表示済み。但し、チェックされた結果に不適當なものもある為、再度検討予定。リストについては ML にて報告する。

2) 図書館一般開放状況について

東海地区協議会サーバ移行作業完了後、掲載作業をすすめる予定。

3) NACSIS-ILL 料金相殺ユーザ会について

委員長より、ユーザ会について会長校に詳細を問い合わせ中だが現在のところ回答なしとの報告があった。協議の結果、現段階ではアンケート調査等も含め委員会として動くことはしないことに決定した。なお、協議上委員よりだされた意見は以下の通り。

- ・東地区は部会長校が中心で行っている。委員会レベルの事業としては重すぎるのではないかと
- ・委員会より上部の組織で、動向等について調査してもらう方がよい
- ・次期 2003 年度相互協力情報交換会の場などを利用し、情報交換をすすめてはどうか

4) 次回日程 2 月 28 日(金)開催で調整する

情報化委員会との合同委員会が予定されているため、これからの両委員会の在り方をそれぞれの委員会で検討することを申し送り事項とする

以上